

図7 母乳栄養児の体重減少への対処

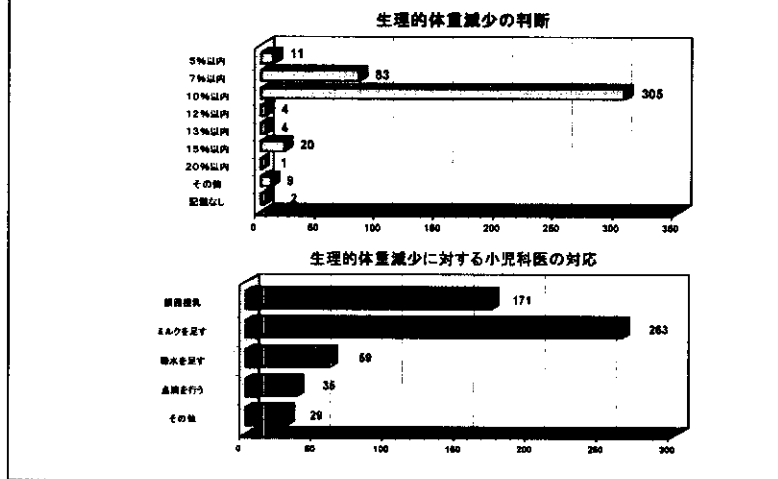


図8 光線療法中の栄養法選択

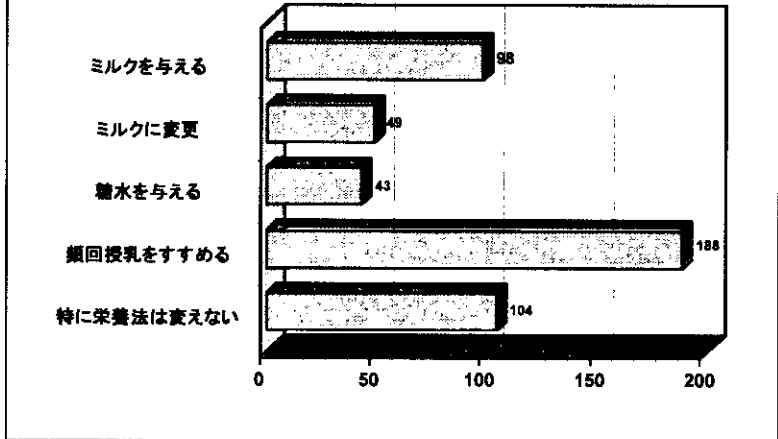


図9 退院時に体重減少がある児への対応

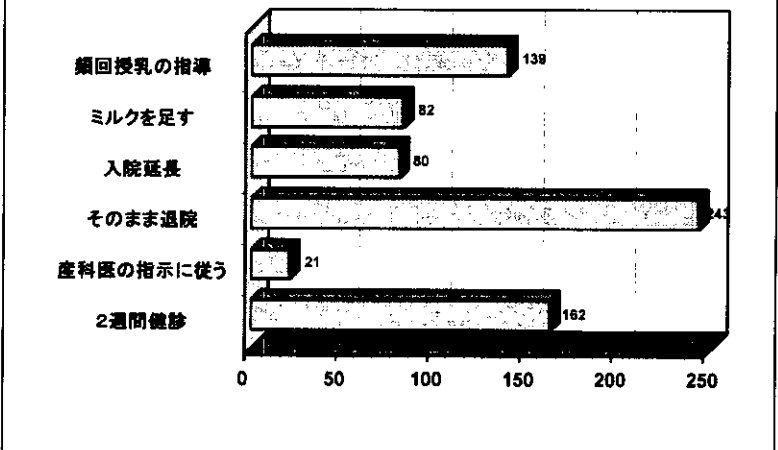


図10 1ヶ月健診時の体重増加についての小児科医の考え方

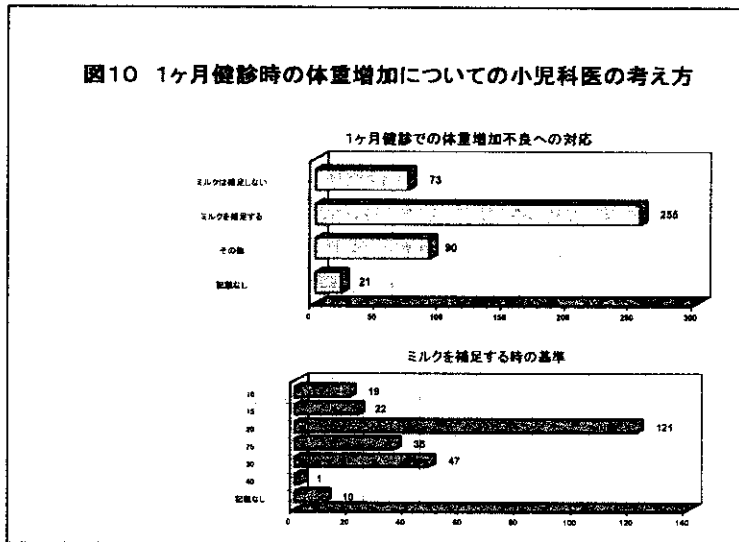


図11 母乳不足判定基準

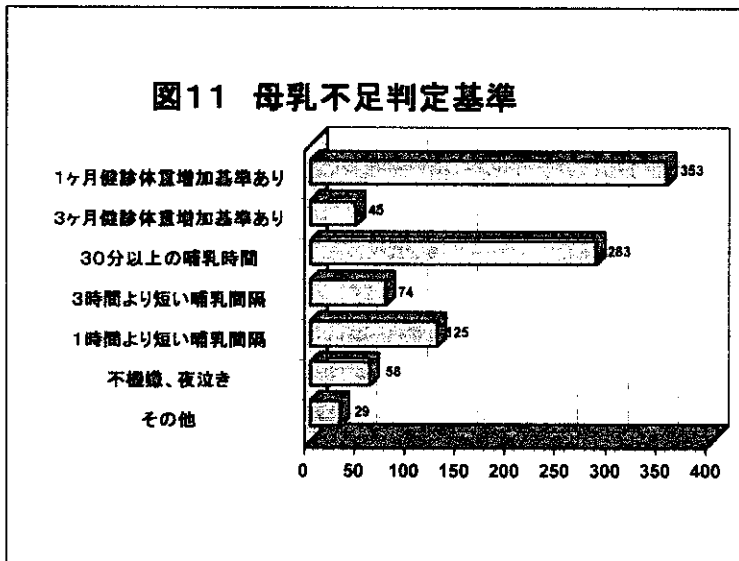


図12 体重増加基準

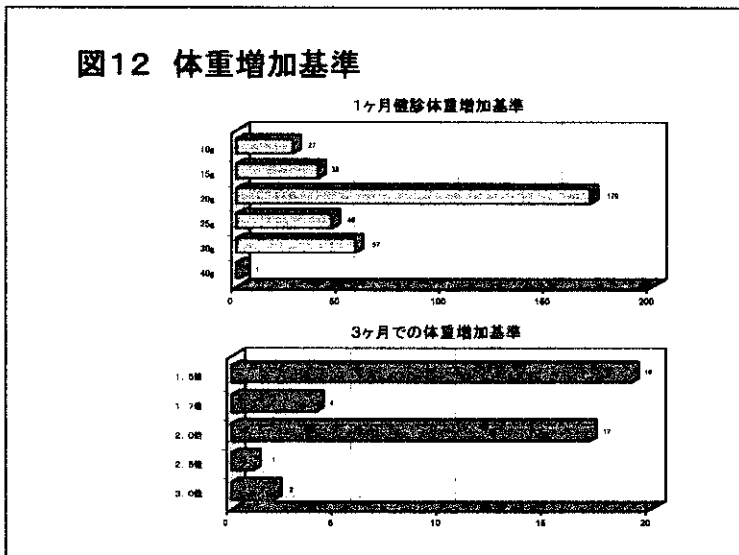


図13 離乳準備への指導

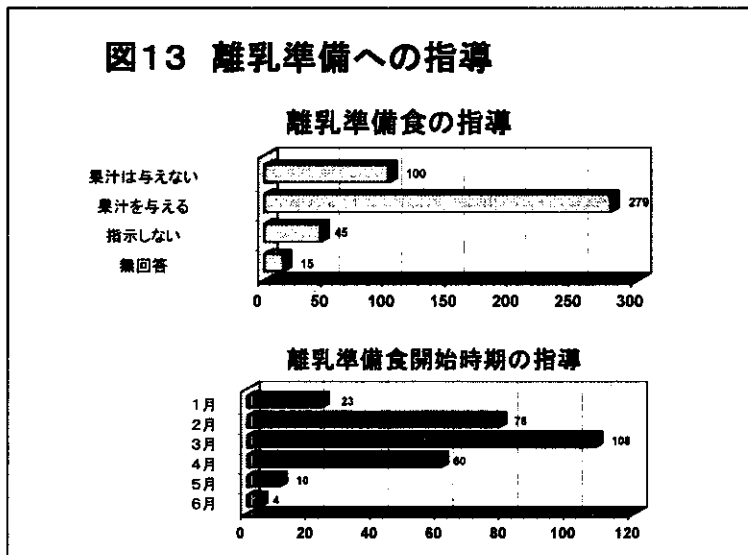


図14 離乳の指導

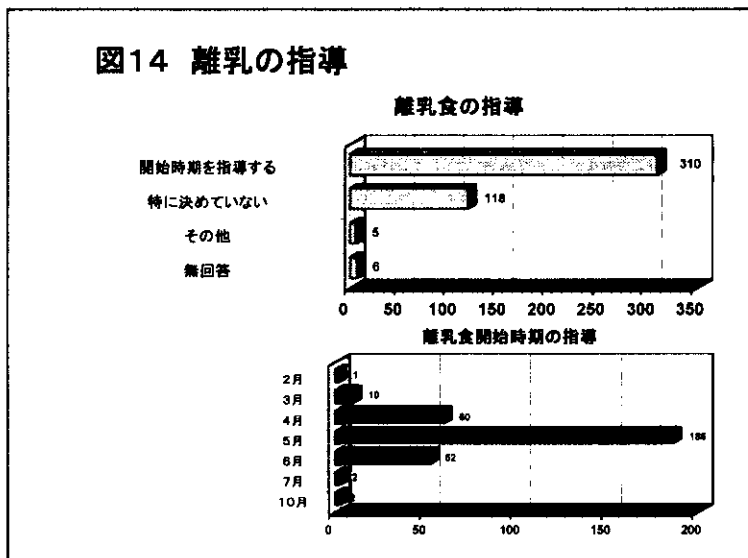


図15 卒乳の指導

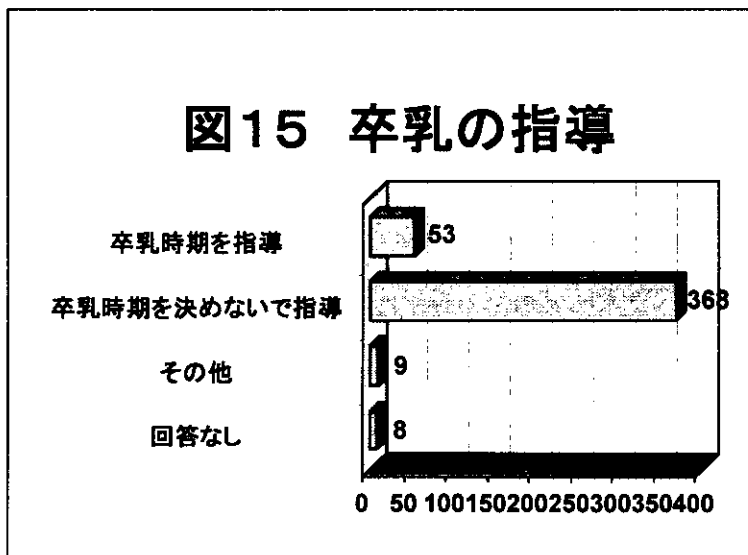


図17 母乳性黄疸への対応 母乳中止期間

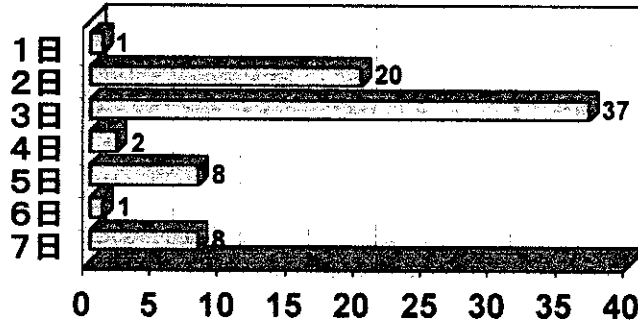


図18 母体への薬物投与中の授乳

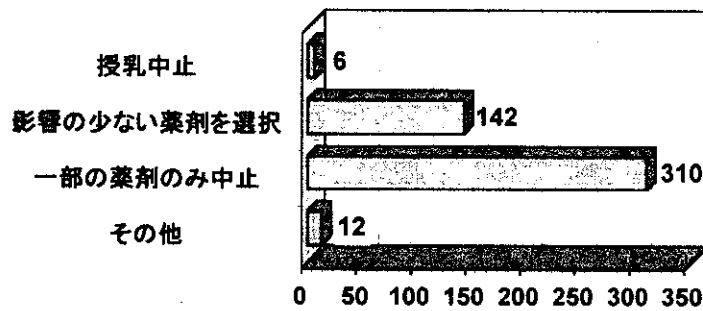


図19 授乳禁止の病態

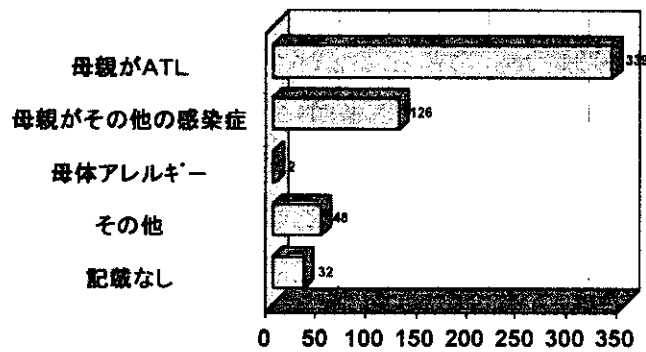


図20 WHOの母乳育児推進のための10箇条
WHOコード

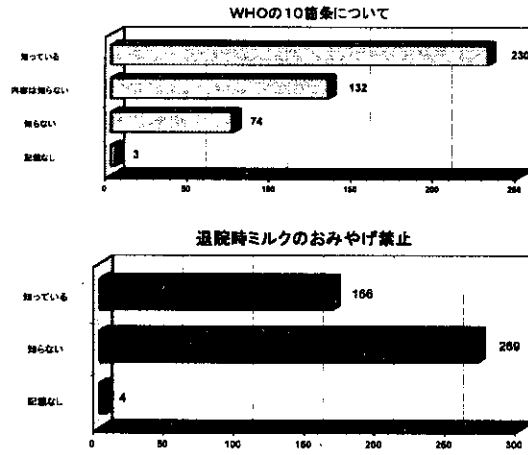
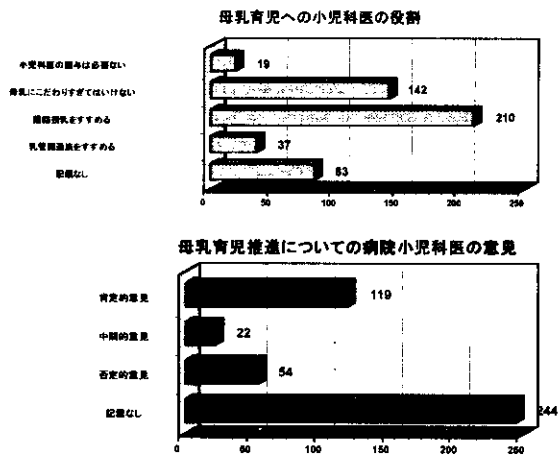


図21 母乳育児推進のための小児科医の役割



厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)

「地域における子育て支援ネットワーク構築に関する研究」

分担研究報告書

地域における子育て支援活動の実態に関する調査

—集計結果報告—

分担研究者 中村 敬 日本子ども家庭総合研究所情報担当部長
研究強力者 小山 修 日本子ども家庭総合研究所研究企画情報部長
研究強力者 斉藤 進 日本子ども家庭総合研究所主任研究員

研究要旨

地域における育児支援は相談、交流、保育、情報提供であり、子育てグループ活動、子育て中の親子が集まるフリースペース(子育てサロンやひろば事業)が有効と考えられる。

今年度は全国自治体(人口規模別無作為抽出)の保健、福祉、教育の3部門に対して、子育て地域活動である子育てグループへの援助、地域の子育て支援ネットワーク、子育て中の母親たちの交流の場であるフリースペース、子育て中の親たちへの助言者、子育て支援者としてのボランティアの養成、ボランティアへの研修内容、行政の窓口の統合化などについて、実態調査を実施した。

結果は、地域の子育てグループの把握は、「ほぼ全数把握」21%、「可能な範囲での把握」39%、「把握していない」15%であった。行政支援の内容は、活動場所の提供 72%、資金援助 20%、援助の内容でみると、学習会への講師派遣・紹介が 42%、情報提供や講演会 52%、専門職による援助 38%、立ち上げの援助 37%、保育ボランティアの派遣 20%であった。地域における子育て支援のための関係者・機関同士の連携(ネットワーク化)は34%、そのうち、「行政や社会福祉協議会が中心になって構築しているもの」は、約70%、「民間団体、NPOやNGOが中心になって構築しているもの」は、8%、「市民のボランティアが中心になっているもの」は18%であった。フリースペースにおけるアドバイザーの役割は保健師・看護師 55%、保育士 64%、子育てサポーター20%であり、アドバイザーとしてボランティアを養成しているところは13%、研修内容は健康と保育に関する技術研修が主であり(76~78%)、地域活動の技法(コミュニティーワーク)を研修に取り入れているところは30%程度であった。子育て支援の窓口が統合化されているところは8%、窓口は別であるが連携をとっているところが60%であり、従来どおりが33%であった。

見出語： 地域 子育て支援 フリースペース 子育ての交流の場 ネットワーク ボランティア 連携 研修

A. 研究目的

地域における育児支援は「子育てに関する相談」、「親子の交流の場の提供」、「保育サービスの充実」、「地域の子育て関連情報の提供」であり、子育てグループ活動、子育て中の親子が集まるフリースペース(子育てサロンやひろば事業)が有効と考えられる。これらの活動は住民に身近な行政、社会福祉法人、地域住民のボランティア、NPOやNGOなどにより展開されており、子育て支援のための地域のネットワーキングが広がりつつある。本研究班ではこの点に着目し、これらの点として存在しているサービスのネットワーク化について考察することを目的としている。今年度は地域の子

育て支援活動の実態を調査し、調査で得た子育て支援活動各団体または組織に対して、次年度において、それぞれの活動目標、活動内容および運営実態について二次調査を実施する予定である。

B. 研究方法

全国自治体から人口規模別に1000自治体が無作為抽出（人口規模別に1/3抽出）し、別添アンケート調査用紙を送付した。送付先は、政令市は区ごとに、中核市および人口5万以上の市は、母子保健担当部門、児童福祉部門、社会教育部門の3部署に同時に調査票を送付した。人口規模5万未満の市および町村には、保健福祉部門と教育部門の2カ所に調査票を送付した。回答は郵送にて調査者の元に回収した。

調査対象数は2400件であり、回収数は1130件であった。うち、有効回答数は1108件であった。回収率は47%であった。集計はSPSSを用いて実施した。倫理面への配慮は、調査票は無記名とし、組織の連絡先、所在地は一部入手したが、個人情報として公表することはない。あくまで、マスとしての集計に止める配慮をしている。

C. 研究結果

1) 子育てグループを把握しているか(問1)

結果は「ほぼ全数把握している」と回答した部署は21%であり、部署（保健、福祉あるいは保健福祉、教育）別にみると保健あるいは保健福祉部門で多いことがわかる（集計表参照）。

2) 自主的に活動しているグループに対する

行政の支援について聞いてみると、資金面での援助は、図2のとおりで、全体の20%の部署でしか資金援助は行われていない。1グループあたりの援助額は中央値で見ると、48000円であるが、自治体による格差が大きい（問2_1）。

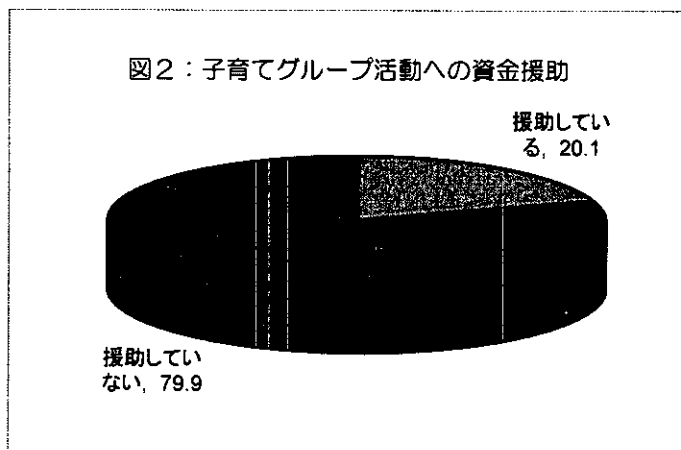
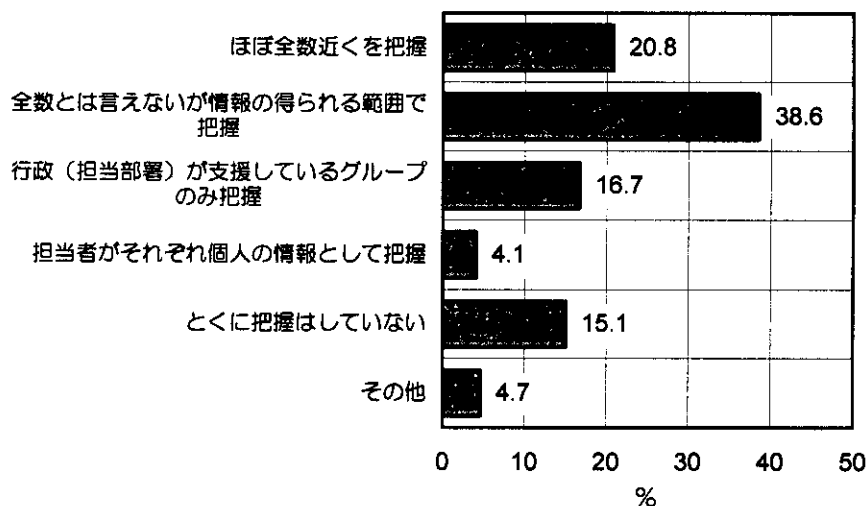


図1：子育てグループの把握状況



3) 資金援助をするための条件について尋ねると、「あり」と回答したものは57%であり、その内容は、活動内容が規定に合致しているかが74%ともっとも多かった。これは回答部署による差はみられなかった。次いで多い条件は参加人数の最低人員であった。資金援助をするときの条件について、自由記述欄をまとめると、別表2のとおりである（問2_1）。

4) 活動場所の提供について聞いてみると、「している」と回答したものは 72%であり、各自治体とも活動場所の提供は実施しており、回答部署の差はみられなかった(問 2_2)。

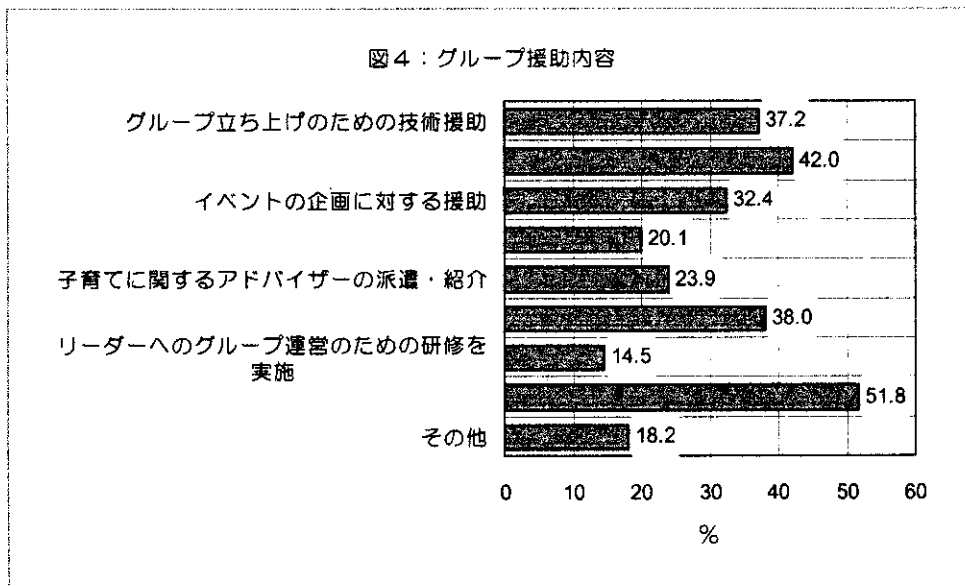
5) 活動場所を利用するための条件は、「ある」と回答した部署は 32%で、予約申し込みが必要と回答した部署が 63%を占めていた。「自由」という回答は 5%に過ぎず、一定の条件や手続きを付しているところが殆どであった。

条件について聞いてみると、活動グループの事前登録がもっとも多く、58%を占めていた。次いで規定に定められた活動であり(34%)、一定の規模を要求するところが 19%を占めていた。提供している活動場所について尋ねた自由記述欄をまとめると、別表 3 に示したとおりで、保健・福祉・教育部門で、それぞれ保有している多くの施設を提供していることがわかる。

活動場所を利用するための条件として、用意した選択肢の「その他」を選択したものの条件を自由記述欄から拾ったのが別表 4 である(問 2_2)。

6) 資金援助や活動場所の提供をしている場合、他自治体の住民の参加は認めているかを尋ねてみたが、「認めていない」と「原則認めていない」を合わせると、48%を占め最も多いが、「費用負担を求める」という回答はさすがに 2%弱しかなかった。「とくに制限しない」と回答しているものは 35%であった。「その他」の欄の自由記載欄を別表 5 にまとめた(問 2_3)。

7) 活動資金や活動場所の提供以外にどんな援助をしているかを聞いてみたが(図 4)、「地域の情報や講演会などの情報伝達」が 52%と



最も多く、次いで「保健・医療関係の専門職による援助」が 38%と多かった。この選択肢は保健あるいは保健福祉部門で多く 43~57%を占め、教育部門では 17%に過ぎない結果を示し、担当部署によって異なる結果を示していた。グループ立ち上げ

のための技術援助は 37%を占め、教育部門に比べると保健部門で高い割合を示していた。イベントの企画に対する援助は 32%であり、回答部署ごとの差はみられなかった。「その他」の自由記載欄に記述された内容を別表 6 に示した。これによると、運営に関する支援は保健部門で多く、保育士の派遣による学習は福祉部門が多い。物品の貸し出しは福祉部門が目立っている。教育部門では運営に関する助言や相談が主で他の援助はあまり提供していないようである。概して、保健部門でさまざまな細やかな援助を提供しているようである(問 2_4)。

8) 子育てグループを支援している上での問題について尋ねてみたが、「問題あり」は 50%と半数は何らかの問題があると答えている。その内容について尋ねると、「リーダーの問題」が最も多く、

次いで活動内容に問題があると回答している。「リーダーの問題」と回答しているものは保健部門で多く、「活動内容」と回答しているものは教育部門で多い傾向を示していた。自由記載欄に記述された内容を別表7に示したが、活動場所の問題、内容の固定化・マンネリ化、リーダーの負担と交代、運営の問題などが指摘されている（問2_5）。

9) 子育てグループは育児不安解消に役立っているか（問2_6）

この問に対して、「大いに役立っている」と回答したものは62%、「期待ほどではないが役立っている」と回答したものは32%であった。これは、回答部署による差はみられなかった。子育てグループはいろいろな問題を抱えてはいるものの育児不安解消には貢献していると受け止めている。

10) 地域に関係機関同士・専門家同士が協力し合って構築しているネットワークがあるか（問3）

この問は、實際上質問がどのように受け止められたか気になるころではあるが、「あり」と回答した部署は34%であり、「なし」が53%という結果であった。実数にして「あり」は361件という結果であった。そこで、ネットワークの内容について聞いたところ、以下の表に示したような結果であった。

地域子育て支援ネットワーク	回答部署					合計
	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
行政が中心になって構築している子育て支援ネットワーク	72	71	83	65	1	292
民間団体(財団法人など)が中心になって構築しているネットワーク	5	6	10	7		28
NPO(NGO)が中心になって構築しているネットワーク	10	7	11	10	1	39
市民活動としてボランティアが中心になって構築しているネットワーク	24	11	28	25	1	89
社会福祉協議会など半行政的組織が中心になって構築しているネットワーク	15	12	14	11	0	52
合計	126	107	146	118	3	500

地域子育て支援ネットワーク	回答部署					合計
	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
行政が中心になって構築している子育て支援ネットワーク	57.1%	66.4%	56.8%	55.1%	33.3%	58.4%
民間団体(財団法人など)が中心になって構築しているネットワーク	4.0%	5.6%	6.8%	5.9%	0.0%	5.6%
NPO(NGO)が中心になって構築しているネットワーク	7.9%	6.5%	7.5%	8.5%	33.3%	7.8%
市民活動としてボランティアが中心になって構築しているネットワーク	19.0%	10.3%	19.2%	21.2%	33.3%	17.8%
社会福祉協議会など半行政的組織が中心になって構築しているネットワーク	11.9%	11.2%	9.6%	9.3%	0.0%	10.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

この結果については、一部には具体的な資料を添付してもらっており、次年度本研究班でネットワークに対して、可能な範囲で個別調査を行う予定である。いずれにせよ、行政および社会福祉協議会が主導して構築しているものが69%にみられ、民間団体やNPO、NGOが主催しているものが13%、市民のボランティアによるものが18%という結果であった。「その他」の自由記載欄に記載された内容を別表8に示した。

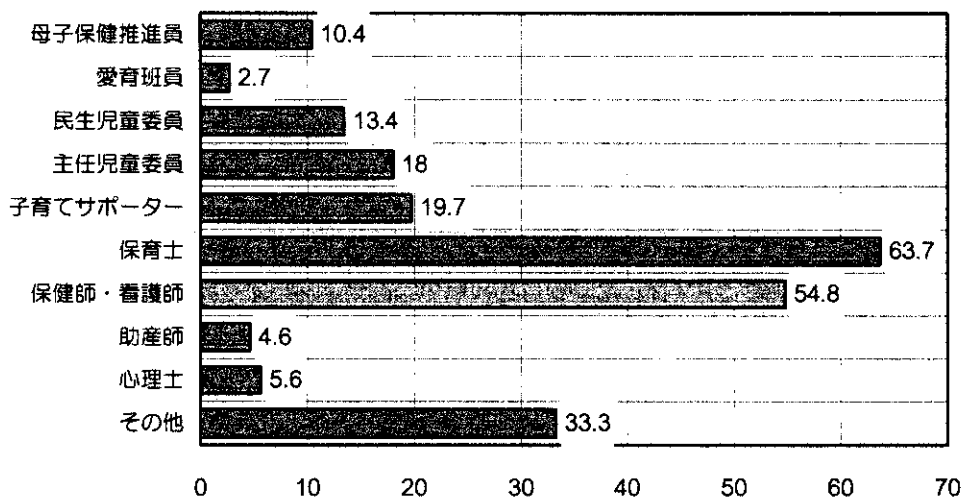
11) 地域で展開されている主として乳幼児を対象とした「ひろ場」（フリースペース）について聞いた（問4）。この設問では、具体的な「ひろ場」の主催者について連絡先の提供をお願いした。本研

究班の最終年度（平成 15 年度）に、入手した情報、資料をもとに「ひろ場」に対して、その活動の実態を調査する予定である。ひろ場の活動形態について聞いた回答では、「施設型」、「常設型」が多く、それぞれ、68%、94%であった。地区を巡回して開催する形態は 12%に過ぎなかった。また、不定期の開催も 17%を占めていた。

- | |
|---|
| 1. 施設型：専門の独立した施設があり常時開催しているところ（例：〇〇子育てセンター） |
| 2. 常設型：専門の施設はないが、特定の会場を決めて定期的に開催しているところ |
| 3. 巡回型：地域のいろいろな会場を巡回して定期的に開催して回るところ |
| 4. 不定期：不定期にイベント（母と子の遊び会や交流会など）として開催するところ |

12) フリースペースにおいて、子育てについてアドバイスをするための要員について尋ねた（問 5）。

図6：フリースペースにおけるアドバイザー



結果は、図 6 に示した。これによると、保育士が最も多く 64%、保健師・看護師がこれに次いで、55%を占めていた。

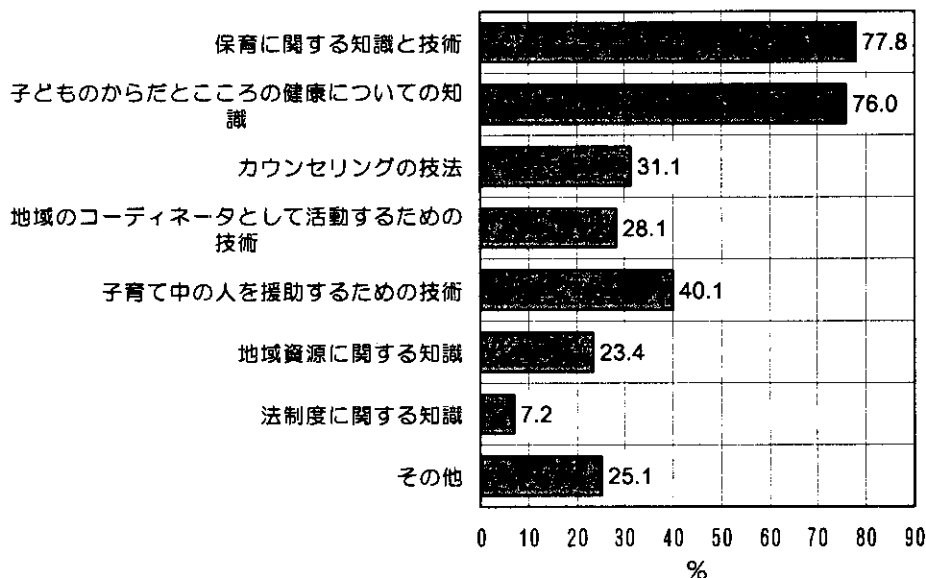
これは回答部署により異なり、国の事業である地域子育て支援センターが保育所に

設置されているところが多いことが関係しているものと思われる。保健部門からの回答では保健師・看護師が 70%を占めており、大きな都市では保健師・看護師が主なアドバイザーになっていることがわかる。「その他」の記載欄に記述された内容を別表 9 にまとめた。「栄養士」「歯科衛生士」などの専門家、「子育てアドバイザー」「子育てメイト」「子育てサポーター」「社会教育委員」など地域の多くのボランティアが参加しており、実にさまざまな名称の市民がかかわっていることがわかる（別表 9-要約）。

13) 子育てについてアドバイスをするボランティア要員を養成しているかについて尋ねたところ、「養成している」と回答したところは、13%であり、83%は「養成していない」と回答している。残り 4%は「計画中」と回答している。ボランティアの名称については別表 10 に示した。「子育てサポーター」という名称のボランティアがもっとも多く、これは文部科学省家庭教育部門が実施している養成講座を受講した地域の支え合いのためのボランティアである。呼び名はことなるが類似しているボランティアが各地で養成されて活躍している（問 6）。

14) ボランティア養成講座の内容を聞いたところ、「保育に関する知識と技術」78%、「子どもとからだところの健康についての知識」76%、「子育て中の人を援助のための技術」40%、「カウンセ

図8：ボランティア養成のための研修内容



リングの技術」31%、「地域のコーディネータとして活躍するための技術」28%であった。「地域の資源に関する知識」23%であった。「その他」の自由記載欄を別表 11 にまとめた。子ども虐待の知識や救急法の研修も行われているようである。

15) 「住民を援助し、互いの関係づくりを推進し、個人や家族を援助する人材」の養成をしているかとの間に対して、「養成している」と回答した部署は21%であった(問7)。

16) 子育て支援の窓口が一本化しているかどうか聞いてみると、「一本化されている」と回答した部署は8%に過ぎなかった。「窓口は別であるが連携をとっている」との回答が大半を占めていた(問9)。「その他」の記載欄の記述を別表 11 にまとめた。

17) 回答者の年齢分布を回答部署別にみると、保健あるいは保健福祉部門では、20代の若い職員が回答しており、福祉部門および教育部門では40代以上の年配の職員が回答している(問10)。

図9：窓口の統合

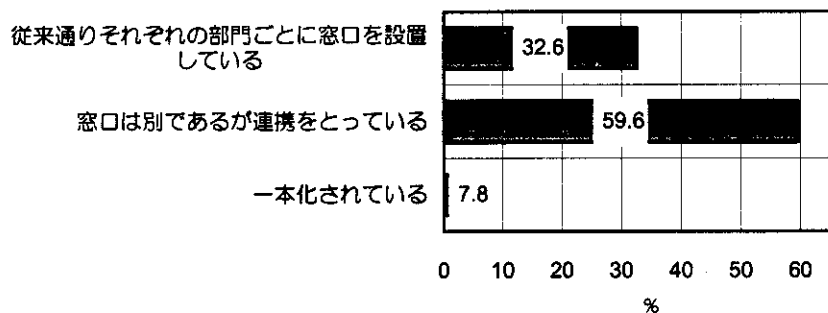
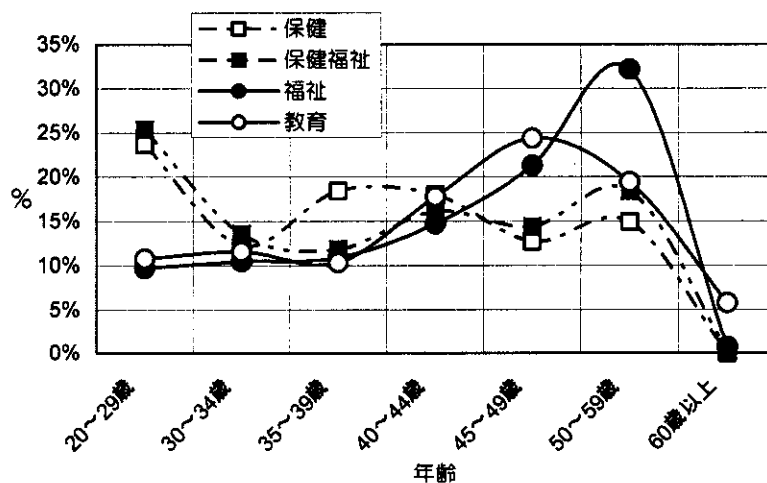


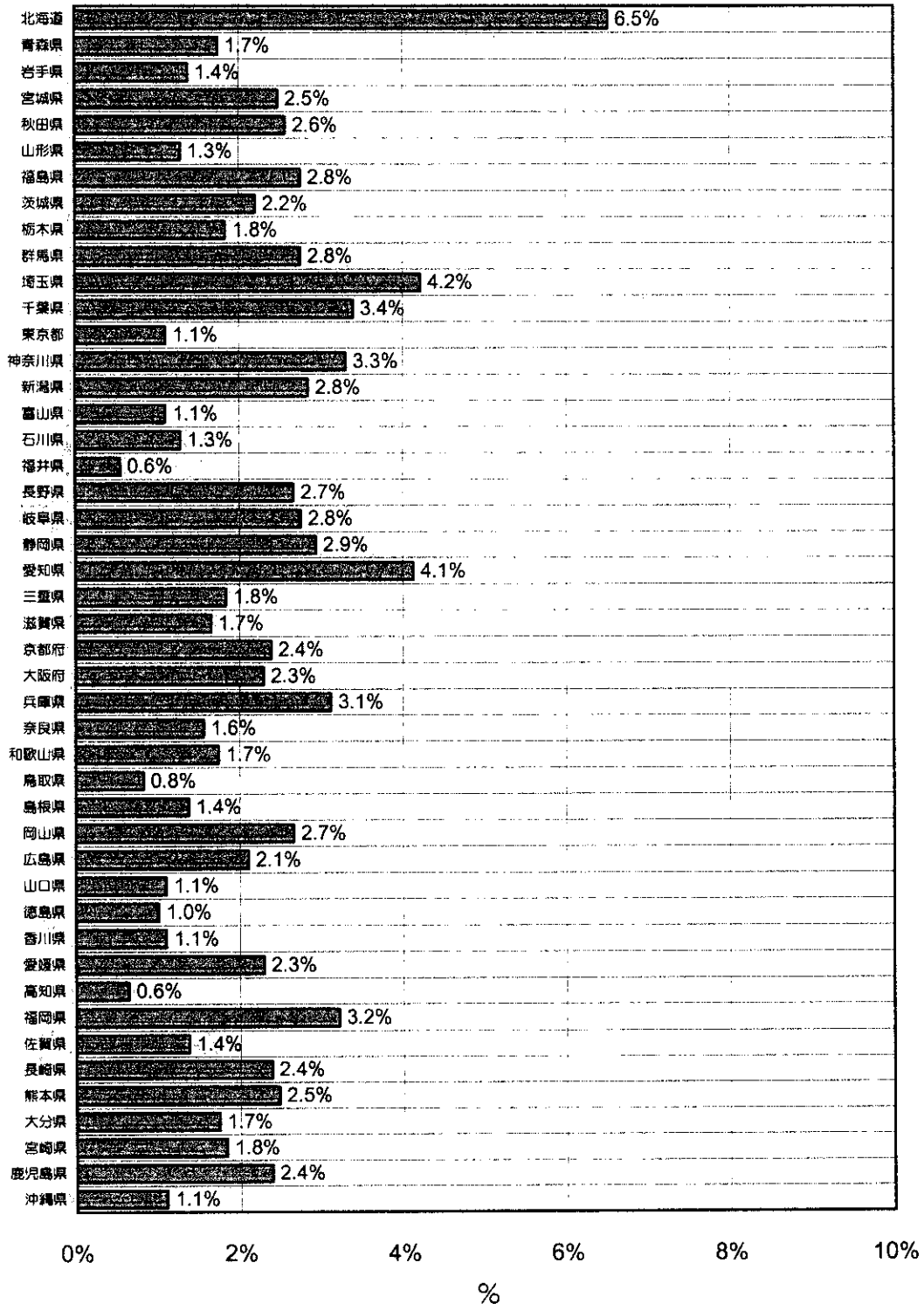
図10：回答者の年齢分布



18) 回答者の性別は、70%が女性であり、保健部門では 97%が女性であった。一方、福祉部門では 58%が女性であり、教育部門では 47%が女性であった（問 11）。

19) 回答者の都道府県別分布をみると、図 11 と別表 12 の通りである。

図11：回答数の都道府県別割合



アンケート「地域における子育て支援活動の実態に関する調査」結果

問1：地域の子育てグループを把握しておられますか。該当するものを一つ選んで○をつけてください。

1. ほぼ全数近くを把握している
2. 全数とは言えないが情報の得られる範囲で把握している
3. 行政（担当部署）が支援しているグループのみ把握している
4. 担当者がそれぞれ個人の情報として把握している
5. とくに把握はしていない
6. その他（ 別表-1 ）

問1_1：貴部署で把握されている数はどのくらいですか。（ ）グループ

地域の子育てグループを把握と回答部署のクロス表

		回答部署					合計
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
地域の子育てグループを把握	ほぼ全数近くを把握	度数 46	98	42	38		224
	回答部署の%	20.6%	27.5%	17.0%	15.6%		20.8%
	全数とは言えないが情報の得られる範囲で把握	度数 111	111	110	83	1	416
	回答部署の%	49.8%	31.1%	44.5%	34.0%	16.7%	38.6%
	行政(担当部署)が支援しているグループのみ把握	度数 31	53	34	61	3	182
	回答部署の%	13.9%	14.8%	13.8%	25.0%	50.0%	16.9%
	担当者がそれぞれ個人の情報として把握	度数 10	15	5	14		44
	回答部署の%	4.5%	4.2%	2.0%	5.7%		4.1%
	とくに把握はしていない	度数 15	56	46	44	1	162
	回答部署の%	6.7%	15.7%	18.6%	18.0%	16.7%	15.0%
	その他	度数 10	24	10	4	1	49
	回答部署の%	4.5%	6.7%	4.0%	1.6%	16.7%	4.5%
合計	度数	223	357	247	244	6	1077
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

報告書

貴部署で把握されている数はどのくらい

回答部署	平均値	度数	標準偏差
保健	10.6994	173	15.13743
保健福祉	5.7659	252	12.15483
福祉	13.8021	187	19.86536
教育	8.0857	175	12.12381
その他	50.0000	4	19.37352
合計	9.4817	791	15.53815

問2：自主的に活動している子育てグループに対する行政の支援について教えてください。

問2_1：活動資金の援助

1. している
2. していない → 問2_2へ

問2_1_1：1グループに対しておよそどのくらいの援助額ですか。
(お差し支えなければ教えてください)

() 円ぐらい/年間

活動資金の援助と回答部署のクロス表

			回答部署					合計
			保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
活動資金の援助	援助している	度数	34	71	47	50	4	206
		回答部署の%	16.1%	21.5%	19.3%	21.1%	66.7%	20.0%
	援助していない	度数	177	259	197	187	2	822
		回答部署の%	83.9%	78.5%	80.7%	78.9%	33.3%	80.0%
合計	度数	211	330	244	237	6	1028	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

報告書

1グループに対しておよそどのくらいの援助額

回答部署	平均値	標準偏差	度数	最小値	最大値	グループ中央値
保健	147246.67	243046.72	18	5000.00	981440.00	46666.6667
保健福祉	113221.35	169455.95	51	189.00	900000.00	48333.3333
福祉	213672.41	546685.77	29	2500.00	3000000.00	70000.0000
教育	111117.27	210411.39	33	.00	1000000.00	38000.0000
その他	10000.0000	.00000	2	10000.00	10000.00	10000.0000
合計	137654.88	307488.17	133	.00	3000000.00	48000.0000

問 2_1_2 : 資金援助をするために一定の条件がありますか。

1. ある 2. ない 問 2_2 へ

問 2_1_3 : それはどんな条件ですか。該当するものにすべて○をつけてください。

1. 参加人数に最低人数を設けている
2. 規定で定められた活動内容であること
3. その他 (別表-2)

資金援助をするために一定の条件がありますか と回答部署のクロス表

			回答部署					合計
			保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
資金援助をするために一定の条件がありますか	ある	度数	20	42	35	44	4	145
		回答部署の%	50.0%	48.3%	67.3%	62.9%	100.0%	57.3%
	なし	度数	20	45	17	26		108
		回答部署の%	50.0%	51.7%	32.7%	37.1%		42.7%
合計	度数	40	87	52	70	4	253	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

回答部署

Count	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	Total
参加人数に最低人数を設けている	5	16	11	12	3	47
	23.8	39.0	29.7	26.7	75.0	31.8
規定で定められた活動内容であること	15	30	26	36	3	110
	71.4	73.2	70.3	80.0	75.0	74.3

その他	8	7	11	10	0	36
	38.1	17.1	29.7	22.2	.0	24.3
Column	21	41	37	45	4	148
Total	14.2	27.7	25.0	30.4	2.7	100.0

148 valid cases: 前問無回答者2名を含む

問 2_2 : 活動場所の提供をされていますか

1. している 2. していない → 問 2_3 へ

活動場所の提供と回答部署のクロス表

		回答部署					合計	
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他		
活動場所の提供	している	度数	142	238	180	185	1	746
		回答部署の%	65.7%	72.1%	74.4%	77.4%	16.7%	72.2%
	していない	度数	74	92	62	54	5	287
		回答部署の%	34.3%	27.9%	25.6%	22.6%	83.3%	27.8%
合計	度数	216	330	242	239	6	1033	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問 2_2_1 : それはどのような場所ですか → 別表-3

問 2_2_2 : 活動場所を利用するための条件がありますか。該当する一つを選んで○をつけてください。

1. ある 2. 予約・申込だけで自由に利用 3. いつでも自由に

活動場所を利用するための条件と回答部署のクロス表

		回答部署					合計	
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他		
活動場所を利用するための条件	ある	度数	58	49	58	68	1	234
		回答部署の%	42.3%	21.2%	33.0%	38.0%	100.0%	32.3%
	予約申し込み	度数	77	162	112	104		455
		回答部署の%	56.2%	70.1%	63.6%	58.1%		62.8%
	自由	度数	2	20	6	7		35
		回答部署の%	1.5%	8.7%	3.4%	3.9%		4.8%
合計	度数	137	231	176	179	1	724	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問 2_2_2_1 : 前問で「1. ある」とお答えいただいた方にお尋ねします。それはどんな条件ですか。該当するものすべてを選んで○をつけてください。

- 活動グループの事前登録
- 一定の活動規模があること
- 規定に定められた活動内容であること
- その他 (別表-4)

Count	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	Total
\$Q2_1	1	2	3	4	8	

活動グループの事前登録	29	24	39	43	0	135
	50.0	49.0	67.2	64.2	.0	57.9
一定の活動規模があること	10	12	9	12	0	43
	17.2	24.5	15.5	17.9	.0	18.5
規定に定められた活動内容であること	18	16	16	29	0	79
	31.0	32.7	27.6	43.3	.0	33.9
その他	20	12	19	15	1	67
	34.5	24.5	32.8	22.4	100.0	28.8
Column	58	49	58	67	1	233
Total	24.9	21.0	24.9	28.8	.4	100.0

233 valid cases; 2 missing cases

問 2_3：資金援助や活動場所の提供などの活動支援を行っている場合、他地域（他の自治体）の住民の参加は認めていますか。該当するものを一つ選んで○をつけてください。

1. 認めていない
2. 原則として認めないが黙認している
3. とくに制限はしない
4. 費用負担を求める
5. その他（別表－5）

他地域(他の自治体)と回答部署のクロス表

		回答部署					合計
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
他地域 (他の自治体)	認めていない	度数	12	12	15	14	53
		回答部署の%	21.8%	24.5%	26.3%	23.0%	23.8%
	原則として認めないが黙認している	度数	14	10	14	16	54
		回答部署の%	25.5%	20.4%	24.6%	26.2%	24.2%
	とくに制限はしない	度数	19	16	20	23	79
		回答部署の%	34.5%	32.7%	35.1%	37.7%	35.4%
	費用負担を求める	度数	1	2		1	4
		回答部署の%	1.8%	4.1%		1.6%	1.8%
	その他	度数	9	9	8	7	33
		回答部署の%	16.4%	18.4%	14.0%	11.5%	14.8%
合計	度数	55	49	57	61	223	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

問 2_4：その他、子育てグループ活動に対してどのような支援をしておられますか。該当するものすべてを選んで○をつけてください。

1. グループの立ち上げのための技術的援助
2. 学習会への講師の派遣・紹介
3. イベントの企画に対する援助
4. 保育ボランティアや保育士（アルバイト）の派遣・紹介
5. 子育てに関するアドバイザーの派遣・紹介
6. 保健・医療関係の専門職による援助
7. リーダーへのグループ運営のための研修を実施

8. 地域の情報や講演会などの情報伝達

10. その他 (別表-6)

Count	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	Total
	1	2	3	4	8	
\$Q2_2						
グループ立ち上げのた めの技術的援助	87 44.6	88 33.6	82 41.8	59 30.3	1 20.0	317 37.2
学習会への講師の派遣 紹介	99 50.8	87 33.2	72 36.7	100 51.3	1 20.0	359 42.1
イベントの企画に対す る援助	56 28.7	82 31.3	72 36.7	64 32.8	0 .0	274 32.1
保育ボランティアや保 育士の派遣・紹介	37 19.0	50 19.1	45 23.0	38 19.5	1 20.0	171 20.0
子育てに関するアドバ イザーの派遣・紹介	41 21.0	56 21.4	49 25.0	58 29.7	0 .0	204 23.9
保健・医療関係の専門 職による援助	111 56.9	112 42.7	69 35.2	34 17.4	0 .0	326 38.2
リーダーへのグループ 運営のための研修	30 15.4	36 13.7	27 13.8	28 14.4	3 60.0	124 14.5
地域の情報や講演会な どの情報伝達	88 45.1	136 51.9	108 55.1	109 55.9	2 40.0	443 51.9
その他	36 18.5	47 17.9	51 26.0	23 11.8	0 .0	157 18.4
Column	195	262	196	195	5	853
Total	22.9	30.7	23.0	22.9	.6	100.0

Percents and totals based on respondents

853 valid cases; 255 missing cases

問 2_5 : 子育てグループを支援していて問題はありませんか

1. ある 2. ない



問 2_5_1 : 「ある」とお答えいただいた方にお尋ねします。その内容は何でしょ

うか。該当する項目にすべて○をつけてください。

1. リーダーの問題
2. メンバーの問題
3. 事業・活動内容の問題
4. 資金の問題
6. その他 (別表-7)

子育てグループを支援している問題と回答部署のクロス表

			回答部署					合計
			保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
子育てグループを支援している問題	ある	度数	108	133	96	80	5	422
		回答部署の%	59.3%	49.3%	47.8%	41.2%	83.3%	49.5%
	なし	度数	74	137	105	114	1	431
		回答部署の%	40.7%	50.7%	52.2%	58.8%	16.7%	50.5%
合計		度数	182	270	201	194	6	853
		回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Count		保健	保健福祉	福祉	教育	その他	Total
		1	2	3	4	8	
\$Q2_5							
	Q2_5_2	72	73	41	38	0	224
	リーダーの問題	66.7	55.3	42.7	47.5	.0	53.2
	Q2_5_3	41	53	29	31	2	156
	メンバーの問題	38.0	40.2	30.2	38.8	40.0	37.1
	Q2_5_4	44	50	36	37	2	169
	事業・活動内容の問題	40.7	37.9	37.5	46.3	40.0	40.1
	Q2_5_5	33	35	29	31	2	130
	資金の問題	30.6	26.5	30.2	38.8	40.0	30.9
	Q2_5_6	28	36	28	17	1	110
	その他	25.9	27.3	29.2	21.3	20.0	26.1
	Column	108	132	96	80	5	421
	Total	25.7	31.4	22.8	19.0	1.2	100.0

Percents and totals based on respondents

421 valid cases; 1 missing cases

問 2_6 : 子育てグループは子育て不安解消に役立っていると思いますか。 該当するもの一つを選んで○をつけてください。

1. 大いに役立っていると思う
2. 期待されるほどではないが役立っていると思う
3. あまり役立っているとは思えない

4. かえって弊害である
5. わからない

子育てグループは子育て不安解消に役立っていると思いますかと 回答部署 のクロス表

		回答部署					合計
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
子育てグループは子育て不安解消に役立っていると思いますか	1. 天いに役立っていると思う	度数 138	177	139	123	4	581
	回答部署の%	68.0%	59.4%	63.2%	56.4%	66.7%	61.5%
	2. 期待されるほどではないが役立っていると思う	度数 60	93	68	83	2	306
	回答部署の%	29.6%	31.2%	30.9%	38.1%	33.3%	32.4%
	3. あまり役立っているとは思えない	度数 2			1		3
	回答部署の%		.7%		.5%		.3%
	4. かえって弊害である	度数 1					1
	回答部署の%		.3%				.1%
	5. わからない	度数 5	25	13	11		54
	回答部署の%	2.5%	8.4%	5.9%	5.0%		5.7%
合計	度数 203	298	220	218	6	945	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3：あなたの地域には、乳幼児の子育てを支援するための、関係機関同士、専門家同士が連携・協力して、さまざまな子育て支援サービスを構築しているネットワークや地域住民や民間機関（財団法人やNPO・NGOなど）が中心となったネットワーク活動がありますか。以下の中から該当するものを一つ選んで○をつけてください。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

→ 問4へ

ネットワーク活動と回答部署 のクロス表

		回答部署					合計
		保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
ネットワーク活動	あり	度数 91	83	108	77	2	361
		回答部署の%	41.2%	24.1%	42.2%	32.4%	33.3%
	なし	度数 103	220	118	120	2	563
		回答部署の%	46.6%	63.8%	46.1%	50.4%	33.3%
	わからない	度数 27	42	30	41	2	142
		回答部署の%	12.2%	12.2%	11.7%	17.2%	33.3%
合計	度数 221	345	256	238	6	1066	
	回答部署の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問3_1：それはどのような内容のものですか。該当するものすべてを選んで○をつけてください（連絡先につきましてはお差し支えない範囲で結構です）。

*資料がありましたら別途ご提供いただけますとありがたいです。

1. 行政が中心になって構築している子育て支援ネットワーク
2. 民間団体（財団法人など）が中心になって構築しているネットワーク
3. NPO（NGO）が中心になって構築しているネットワーク
4. 市民活動としてボランティアが中心になって構築しているネットワーク
5. 社会福祉協議会など半行政的組織が中心になって構築しているネットワーク
6. その他具体的に

(別表-8)

地域子育て支援ネットワーク	回答部署					合計
	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
行政が中心になって構築している子育て支援ネットワーク	72	71	83	65	1	292
民間団体(財団法人など)が中心になって構築しているネットワーク	5	6	10	7		28
NPO(NGO)が中心になって構築しているネットワーク	10	7	11	10	1	39
市民活動としてボランティアが中心になって構築しているネットワーク	24	11	28	25	1	89
社会福祉協議会など半行政的組織が中心になって構築しているネットワーク	15	12	14	11	0	52
合計	126	107	146	118	3	500

地域子育て支援ネットワーク	回答部署					合計
	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	
行政が中心になって構築している子育て支援ネットワーク	57.1%	66.4%	56.8%	55.1%	33.3%	58.4%
民間団体(財団法人など)が中心になって構築しているネットワーク	4.0%	5.6%	6.8%	5.9%	0.0%	5.6%
NPO(NGO)が中心になって構築しているネットワーク	7.9%	6.5%	7.5%	8.5%	33.3%	7.8%
市民活動としてボランティアが中心になって構築しているネットワーク	19.0%	10.3%	19.2%	21.2%	33.3%	17.8%
社会福祉協議会など半行政的組織が中心になって構築しているネットワーク	11.9%	11.2%	9.6%	9.3%	0.0%	10.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4：地域で展開されている乳幼児を中心とした親と子どもの溜まり場（〇〇ひろば、〇〇サロンなどの子育て中の親子の集まるフリースペース）について教えてください。お差し支えない範囲で連絡先住所をお教えいただけませんか。なお、主たる活動形態につきましては、

1. 施設型：専門の独立した施設があり常時開催しているところ（例：〇〇子育てセンター）
2. 常設型：専門の施設はないが、特定の会場を決めて定期的で開催しているところ
3. 巡回型：地域のいろいろな会場を巡回して定期的で開催して回る場所
4. 不定期：不定期にイベント（母と子の遊び会や交流会など）として開催する場所

	Count	保健	保健福祉	福祉	教育	その他	Total
\$Q4		1	2	3	4	8	
施設型		102	140	208	73	1	524
		61.4	52.4	110.1	49.3	50.0	67.9
常設型		201	240	136	146	2	725
		121.1	89.9	72.0	98.6	100.0	93.9
巡回型		27	29	24	16	0	96
		16.3	10.9	12.7	10.8	.0	12.4
不定期		31	41	25	31	1	129
		18.7	15.4	13.2	20.9	50.0	16.7
その他		7	21	10	14	0	52
		4.2	7.9	5.3	9.5	.0	6.7